

教育広報

しばたっ子

No.37

発行：新発田市教育委員会
編集：生涯学習課
〒957-0053
新発田市中央町5-8-47
生涯学習センター内
TEL (0254) 26-7191
FAX (0254) 22-1977

公民館子ども交流体験事業

～野外活動を通じて仲間づくり、人づくり～



7月6日(土)公民館こども交流体験事業「わくわく・風の子カヌー体験会」を胎内市のB & G海洋センターカヌー漕艇場を会場に2年ぶりに開催しました。子どもたちはしっかりとルールを守り、カヌーを楽しみ、夏の思い出がひとつ増えました。



も
く
じ

- 課題解決型 職場体験学習 2～3ページ
- 休日部活動の地域移行 4～5ページ
- 防災キャンプ ほか 6～8ページ

しばたの心 継承プロジェクト

新発田市の歴史や文化、自然、産業など、住むまちの良さや課題などへの理解を深める学習を通して、子どもたちにふるさと新発田への愛着と誇りを育むことをねらいとした当市独自の教育プランです。全小中学校で取り組み、社会教育とも連携しています。

今回は、新発田市立東中学校2学年 『課題解決型 職場体験学習』をご紹介します。

新潟県教育委員会のアントレプレナーシップ教育促進モデル事業のモデル校として取り組んで2年目となった東中学校。令和6年度は31事業所にご協力いただき、課題解決型職場体験学習を行うことができました。

アントレプレナーシップ教育とは？

「課題に挑戦するための姿勢と方法を学ぶこと」です。起業する人に限らず全ての人に求められる課題解決に向けた考え方や行動を身につける教育です。



具体的にどんなことを学ぶの？

問題を見つける力

周りの困りごとやもっと良くできそうなことを見つける。

アイデアを出す力

問題をどう解決できるか、新しい方法を考える。

行動する力

アイデアを実際に形にして、試してみる。

つまり、自分で考えて行動し、社会や周りの人たちに役立つことを実現する力が育まれます。

1年間の活動の流れ

1

5月中旬

受け入れ事業所の決定

学校に在籍する地域コーディネーターが事業所に電話をかけアポイント取りを行います。最終的に31事業所が受け入れてくださいました。
※ご興味を持たれた事業所様は、ぜひ、東中学校にご連絡ください。(☎22-3824)



2

6月下旬

新発田市教育委員会主催 事業所への説明会

課題解決型職場体験の意義や内容を確認し、中学生に考えてほしいミッションをつくります。



3

7月上旬

事前学習「生き方トーク・仕事トーク」

自己紹介などの全体会を行った後、各事業所に分かれて、事業所の方から「生き方トーク・仕事トーク」をしていただき、最後に各事業所から子どもたちに、解決してほしい「**ミッション**」を提示していただきました。



なぜこのお仕事に
ついたのですか？

どのようなお仕事
なのですか？



事業所の方との出会い
ドキドキ わくわく



4 7月中旬

五感で知る!! 職場体験学習

事業所から提示されたミッション(課題)を解決するためのアクション(解決方法)を考えながら**職場体験**を行います。



5 夏休み～11月上旬

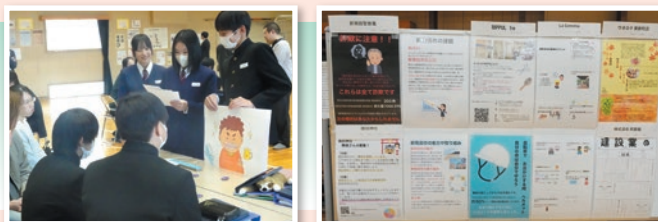
体験後のアクションについて考える

- 生き方トーク・仕事トークや職場体験での学びを基に、仮アクションを考えます。
- 「アクション提案のための夏休み訪問」をして、アドバイスをもらいます。
- **アクション決定! 「中学2年生の私たちにできること」**

6 11月中旬

まとめ発表会

事業所の方、保護者の方、地域の方をお招きしてアクション(解決方法)のまとめ発表会を行いました。



まとめ発表会のひとコマ

「めばえこども園」様からのミッション:

年齢・発達に合ったプール遊び前の準備運動を兼ねたダンスを考えよう



アクション:
ダンスを考え、動画に撮ったものを紹介します。
会場にいるみんなで踊ってみましょう!



学習のまとめと発表を通して、相手に効果的に伝えるための表現力や仲間の様々な手法を知ることができました。



活動を終えて

事業所の声(一部抜粋)

- 昨年に引き続き今年も参加させていただいた。先生方が生徒さんや事業所にとって、より良いやり方を模索されておられるのだろうと感じる。
- 生徒さんが将来に向けて考えるきっかけとなり、仕事とは何なのかについても同時に考える素晴らしいプログラムだと思う。事業所としても有意義な時間を過ごさせていただいた。

成果

- 事業所の方と関わる場面が多く、働くことを身近に感じることができた。
- 事業所の方の思いに触れることで、生徒自身のやる気や思いやりが生まれる場面も見られた。
- 生徒の主体性に任せる場面が多く、大人ではひらめかないような発想でアクションに取り組む生徒もいた。
- 生徒は動画やスライド制作が身近にできる環境があるので、活用しながらアクションを行うことができた。
- 子どもたちにとって学びの多い活動となった。
- 教師自身が事業所との関りを深めることで、視野がひろがり、学びのポイントをたくさん示すことができた。

学習にご協力いただいた事業所様

<順不同・敬称略 31事業所>

● 社会福祉協議会 ● ユニクロ ● 花安/寺町たまり駅 ● 五十公野薬局 ● 新発田市役所 ● ペットワールドアミーゴ ● 加藤商店 ● めばえこども園 ● NPO法人とらい夢 ● FMしばた ● ウオロク ● LIPPUL tre ● 天ノ原保育園 ● ICHIRIN ● 新発田消防本部 ● 新発田警察署 ● 諏訪神社 ● 谷平 ● 東小学校 ● La Gemma ● JAこったま〜や ● 花プラン ● archi hair ● 新発田ニューホテルプラザ ● パン屋喜十郎 ● 清風苑 ● 新発田病院 ● JA北新潟本店 ● 熊倉組 ● 新発田病院附属看護専門学校 ● ほっとしばたケアセンター

大変お世話になり、
ありがとうございました!



平日は学校、土日は地域？

休日部活動の地域移行って何？

少子化による部活動の廃部等により、自分を取り組みたいスポーツができなくなってきました。特に、チームスポーツや小規模校において、それが顕著です。

そこで、国を挙げてスポーツ庁が、休日部活動の地域移行に取り組んでいます。新発田市教育委員会では、令和8年度から休日の学校部活動を「地域クラブ活動」に移行することを目指し、現在、各競技団体と話し合いを進めており、準備が整った競技から段階的に移行を進めています。

「地域クラブ」は、認定NPO法人新発田市総合型地域スポーツクラブ「とらい夢」の加盟団体として、地域の指導者や学校の教職員等が、指導を行っていきます。

R6年度に移行した競技

新発田市中学校ラグビー部



人数 27人 場所 中央公園人工芝グラウンド

活動 土曜日 13:00～16:00
遠征有、平日は学校部活動

新発田市剣道連盟 新発田市剣道スポーツ少年団



人数 26人 場所 カルチャーセンター

活動 土曜日 9:00～12:00
平日は学校部活動

R7年度に移行予定の競技

七葉VC



4月から七葉中学校男子バレーボール部は、地域クラブになります。七葉中学校以外の男子生徒でバレーボールをしたいという場合も活動できます。(平日も含む)

新発田市軟式野球部



夏の中体連主催大会終了後から9つある中学校の軟式野球部は、3つの地域クラブで活動します。(平日は学校部活動)

ひまわり体操クラブ 新体操



夏の中体連主催大会終了後から本丸中学校新体操部は、地域クラブで活動します。(平日は学校部活動)

陸上、柔道、卓球、サッカー等も、準備が整い次第、順次、移行していきます。



部活動の地域移行

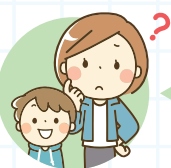
Q & A



休日は、今まで学校の先生が教えてくれていたけど、誰が教えてくれるのですか？

休日は、地域の方が指導してくれます。ライセンスを持っている指導者をお願いしたり、研修を受講していただいたりして地域クラブの指導体制を整えています。専門性のある学校の先生が指導する場合があります。

しかし、指導者不足という問題もあります。今まで、スポーツをやってきた方々などに声をかける場合があります。ぜひ、ご協力ください！



どこで、練習するのですか？

原則、新発田市内の学校施設で練習します！また、通っている学校ではなかったり、公共施設を使ったりする場合があります。お家の方には、練習場所への送迎をお願いすることになります。



お金はかかるのですか？

スポーツ保険を含む「登録料(2,000円/年)」と「参加費(200円/1回参加)」が必要になります。その他、団体ごとに費用がかかる場合があります。

令和7年度の活動状況を踏まえ、令和8年度からの参加費は増額を予定しています。



大会は、学校で出るのですか？ 地域クラブで出るのですか？

大会(中学校体育連盟主催大会)は、学校で出場したり、地域クラブで出場したり、競技によって違います。現在検討中の種目もありますが、男子バレーボール、軟式野球は地域クラブで出場する予定です。

各競技によって違いますので、不安なことがあったら、下記のお問い合わせ先に聞いてみてください。



学校の部活動が変わっていくんですね。

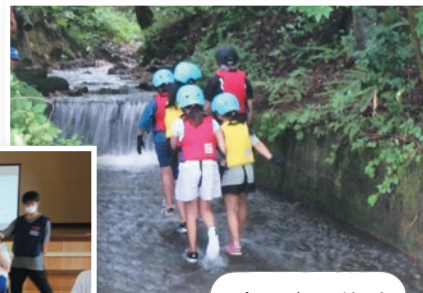
これからも皆さんがスポーツや文化活動に親しめる環境を整えていきます。



～「生きる力」を育む～ あかたにの家 防災キャンプ。

防災 **を** 学ぶではなく、
防災 **で** 学ぶ

災害から命を守るために体験活動を通じて、「自分で判断して行動」すること、「協力・助け合い・ゆずり合い」の大切さを育んでもらうことを目的に実施しています。



流水歩行体験



困りごと、自分たちに
できることは何か？



避難所生活を体験する



群馬大学 金井教授が「新発田市防災教育アドバイザー」に就任！

金井教授は、全国各地において、小中学校における防災教育や地域防災に関する実践的な研究を行っている防災研究に関わる第一人者であり、新発田市の防災教育にも大きく寄与しています。

防災教育アドバイザーの主な活動内容

- 小学校の防災キャンプ引率教職員を対象に、「防災教育の意義・目的」等の講義を行います。
- 防災教育のモデル校（3～4校）へ直接指導や調査、研究を行います。
- 防災キャンプの効果をまとめ、防災意識の向上を図るためのアドバイスをを行います。

委嘱期間

令和6年4月1日から令和9年3月31日までの3年間

就任のあいさつ

防災を学ぶではなく、防災で学ぶ！

新発田市の防災教育アドバイザーを拝命しました群馬大学の金井昌信です。

市内の小中学校が実施している防災キャンプのお手伝いをさせていただいています。

突然ですが、今、身の危険を感じるほどの大きな地震が発生したら、皆さんはどうしますか？

正解は……残念ながら、一つではありません。

地震から身を守るためには、揺れ始めたそのときに周りの状況をよく確認して、一番安全な行動は何なのかを自分で考えて行動することが必要です。では、「自分で考えて行動する」とためには、どうしたらよいでしょうか？

地震が起きたときにどんな危険があるのかを知ることがもちろん重要です。しかし、それ以上に重要なことは、普段から自分で考えて行動することができるようになっておくことです。

防災を学ぶだけでなく、防災を通じて、日頃の生活に必要な素養を身に付ける！

そんな防災教育を新発田市で実践していけたらと考えています。





市民向け防災キャンプ!

対象者を拡大



新発田市では、青少年宿泊施設「あかたにの家」において、平成29年度から主に小学生を対象として、体験的な防災教育(防災キャンプ)を実施してきました。これまでおよそ9千人の子どもが体験しており、子どもたちには防災意識の向上が見られます。

令和6年度は、家族全体の防災意識の向上を図ることが、地域の防災力の向上につながると考え、新たな防災キャンプの取り組みを行いました。

6/16

ぼうさい

ファミリーキャンプ

家族を対象にした防災キャンプです。

新潟地震から60年の節目の日に、避難所の疑似体験や非常食体験、災害時に役立つ技能体験等を行いました。

家族が一緒に防災プログラムを体験することにより、家族で災害を身近に感じ、話し合うきっかけとなりました。



非常食クッキング



水消火器体験



9/30

親子防災キャンプ

新発田市としては初の試みである年長園児と保護者を対象にした防災キャンプです。災害が発生した際の行動や避難所で生活するうえでのルールや他の人とのかわりなどを学びました。今年はキッズ陽だまり園の親子が参加しました。



段ボールで生活スペースを作るう



段ボールベッド体験



あかたにの家周辺散策



新聞紙スリッパづくり



参加者の声

「もしも」の時の知識を学べて楽しかった。

避難所体験では知らなかったことが沢山！
他の人との協力がとても大切だと感じた。



万が一に備えて、防災クッキングを定期的に
自宅でもやりたい。メニューも増やしたい。



災害時の家族の集合場所を決めておこうと思った。



ぐんぐん育てしばたっ子

問合せ先 / 生涯学習課(生涯学習センター内) ☎26-7191

地域おこし協力隊と学ぶ



簡単！アウトドア × 防災講座



令和7年度4月から教育委員会に地域おこし協力隊が着任予定です。

ミッションは、『アウトドア+防災』を通じて、あかたにの家を知ってもらい、あかたにの家をもっともっと元気にすることです。

5月から11月までの計7回。楽しい企画を考えています。お楽しみに！

第1弾！

日時 5月24日(土) 午後から夜間にかけて

会場 新発田市青少年宿泊施設「あかたにの家」炊事場、グラウンドほか

対象 焚火やアウトドアを楽しみたい方



詳しくは

広報しばた5月1日号をご覧ください



家庭での
教育を
より豊かに

「家庭教育推進補助金を支給します」

家庭は子どもにとって一番身近な学びの場です。市では、家庭教育の充実を図る活動を支援しています。詳しくは生涯学習課にお問合せください。

対象

市内の小・中学生、幼稚園、保育園、認定こども園、子育てサークル等が保護者などを対象に行う講演会・学習会

内容

講師謝礼(一定額)を補助します

